

# J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



2015年11月11日国産旅客機MRJが試験飛行に成功！ 11月24日国産ロケットH2Aがカナダのテレサット社の通信放送衛星を無事軌道に乗せることに成功。11月13日パリ同時多発テロ事件の犠牲者のご冥福をお祈りした両手で、力いっぱい拍手しました。まさに「下町ロケット」。さ～て今月は、東京女子医大の森本 聡先生と高知高須病院の大田和道先生からメッセージをいただきました。

## 世話人・幹事からのメッセージ

### 「 J - D A V I D に対する期待 」

東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科  
森本 聡 先生

私が大学を卒業して入局した内科の医局は、高血圧、呼吸器、血液など多数のグループを擁したが、中でも循環器グループが主流であった。そのため、卒後3年目から2年間勤務した朝日大学附属村上記念病院では、心臓カテーテル検査やカテーテルインターベンションを数多く経験した。その後大学に戻ってからは高血圧グループに所属し、4年間の大学院時代およびそれに続く3年間の米国留学中には高血圧に関する研究を行なった。留学中に、母校の内科がdivision化されることとなり、高血圧グループは腎臓・高血圧内科に再編成された。このため、帰国時には近江八幡市民病院(現近江八幡市立総合医療センター)に腎臓内科医として赴任し、腎生検や透析医療を学ぶこととなった。同病院2年目に、朝日大学附属村上記念病院で心臓カテーテル検査を指導して下さった循環器内科の大先輩が着任された。循環器内科も人手不足であったため、先輩命令(絶対服従が原則!)により透析患者のカテーテルインターベンションを手伝うこととなった。予想通り透析患者では冠動脈の石灰化が強く、カテーテルインターベンションは困難を極めた。冠動脈石灰化を予防するため血清Ca値を上昇させないように細心の注意を払うようになり、血清Ca値を増加させる活性型ビタミンD製剤には少し嫌なイメージを持つようになった。しかし、透析液のCa濃度の調整およびシナカルセトやCa非含有のP吸着薬の使用が可能となってからは、血清Ca値のコントロールは比較的容易となり、悪いイメージは払拭されるようになった。それどころか、ビタミンDには、免疫強化作用、抗炎症作用、抗酸化作用、レニン・アンジオテンシン系抑制作用など様々な有益な作用を有することが明らかとなってきたため、むしろ最近では“大好きな”薬剤となった。そのような折に、庄司先生からJ-DAVIDへの参加のお誘いをいただいた。本試験では、経口活性型ビタミンD製剤の心血管イベント抑制や生命予後改善効果が検証される。大変素晴らしい研究であり、参加させていただいていることを光栄に感じている。本試験の成績が公表され、透析治療の更なる発展に寄与する日が来ることを切望している。



### 「 湯 浅 健 司 先 生 を 偲 ぶ 」

尚腎会 高知高須病院 泌尿器科  
大田 和道先生

この文章を御読みの先生方の中にも、JDAVID 幹事で当院名誉院長の湯浅健司先生と御親交のあった先生もいらっしゃると思います。湯浅先生は今年1月に病に倒れられ、闘病のかいなく、誠に残念ですが、この10月17日に逝去されました。

私と湯浅先生と出合いは、当時湯浅先生が院長であった当院(高知高須病院)に赴任した約14年前に遡ります。当時、湯浅先生は二次性副甲状腺機能亢進症管理を私の上司であった横田欣也先生(現在は四国こどもとおとなの医療センター泌尿器科部長)と共に、PEITによる管理を重点的に行っていました。今思えば、現在のPEIT実施基準からすると少々適応から外れるような症例でも積極的(?)に行っていました。ただ、一時的にはPTHが低下しても、すぐにPTHが再上昇してくる症例が多く、PEIT療法の限界が何となく解りつつありました。湯浅先生にその事を相談したところ、先生も同じことを考えていたようで、すぐに名古屋第二赤十字病院の富永先生のところでのPTxの研修の段取りをしていただきました。その後、当院でもPTxを開始しましたが、初めのうちは複数回のPEIT後の症例が多く、副甲状腺周囲の強い癒着や剥離中の出血、半回神経の同定に術中難渋した記憶があります。それを湯浅先生に相談すると、御自身の経験を踏まえ、腺腫が見つからない時の検索方法や半回神経の同定方法を図解入りで丁寧な解説していただいたことが思い出されます。

PTxによる二次性副甲状腺機能亢進症管理が、PEITに比べ劇的に改善することが実感され始めると、湯浅先生もPTx中心でやろうと方針を変更し、PEITの既往のない症例でPTxを行うことも増え、PEIT歴のある症例よりも難渋することが少なくなって行きました。また、その後はPTHの上昇した患者さんには、先生自らが副甲状腺エコー検査を行いながら、PTxの有用性を熱心にムンテラしている姿をよく目にするようになりました。(ただ、PTxを嫌がる場合には、PEITの説明をしつづけていましたが)

湯浅先生はCKD-MBD管理では、ビタミンDの多面的作用にも注目され、透析のみならず、保存期からの積極的な介入治療も考えておられ、いろいろと構想を練っておられました。その矢先に倒られたのは、さぞ無念であったと思います。不肖私が湯浅先生の任を引き継ぐ事となり、改めてその功績の大きさに驚かされます。湯浅先生のやり残された事をすこしでも成し遂げられるように、今後やっていく所存でございます。

湯浅健司先生の安らかなご冥福をお祈りいたします。合掌



## 最新進捗状況

進捗状況を報告いたします。(11月27日現在)

### 症例報告書回収状況報告

	観察開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目
前月	976	938	924	880	845	805	728	691	657	619
今月 (前月比)	976	938 (-)	924 (-)	880 (-)	845 (-)	805 (-)	728 (-)	691 (-)	657 (-)	619 (-)

### 内容確認書(クエリー)回収状況報告

	開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目	コンプライアンス	中止時	脱落基準	SAE(イベント含む)	総数
発行	1137	816	656	664	639	580	588	467	419	463	1671	212	31	255	8598
回収	1137	805	641	651	620	551	558	441	393	409	1522	183	30	252	8192
回収率(%)	100.0	98.5	97.7	98.0	97.0	95.0	94.9	94.4	93.8	88.3	91.1	86.3	96.8	98.8	95.3

## J-DAVID事務局からのお知らせ



### 共同研究費(2015年分)のお支払について

2015年1月～12月までに回収できました症例報告書のポイントに相当する金額を共同研究費(2015年分)としてお支払いします。1月中旬を目途に、「共同研究費 振込請求書(2015年分)」を各ご施設のJ-DAVIDご担当(代表者)様宛てにご郵送いたします。

事務局にて予め登録番号および算定単位(昨年以降の分のみ)を書き入れた用紙をお送りいたします。ご担当者様にてご確認いただいた後、振込先をご記入いただき、事務局までご返信ください。

お手元にご案内書が届きましたら、ご担当部署ならびにご担当者の皆様とご供覧くださいますようお願いいたします。

### J-DAVID論文発表時の英文所属名、氏名の確認について【重要】

論文発表をするにあたり、世話人・幹事の先生方、症例登録のあるご施設の代表の先生方に、お名前とご所属の英語表記の確認のため書類をお送りいたします。事務局で調べました所属名、氏名を記載したFAX返信用紙を同封しますので内容に間違いがないかなどご確認の上、FAXあるいはE-mailにてご回答ください。なお、ご連絡がない場合は、別紙に記載した英文所属名、氏名を論文に記載させていただきますのでご了承ください。ご協力の程宜しくお願いいたします。

## 最近の文献から

### 進行期慢性腎臓病における活性型ビタミンD製剤の肺うっ血抑制能力

### Ability of vitamin D receptor activator to prevent pulmonary congestion in advanced chronic kidney disease.

Sueta S, et al. Clin Exp Nephrol 19: 371-378, 2015

【ポイント】透析導入患者におけるVDRA使用有無と肺うっ血有無との関連を調べた断面的研究。症例数952人中303人にVDRAが使用されていた。VDRA使用は肺うっ血合併と負の関連を示し、多変量ロジスティック解析でOR 0.64 (0.44-0.94), P=0.02であった。

【詳しくは】<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/24916005>

編集・発行：J-DAVID研究会事務局  
〒545-8585大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
大阪市立大学大学院医学研究科  
代謝内分泌病態内科学 内  
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808  
J-DAVID試験データセンター  
電話 06-6645-3443 FAX 06-6646-3588

J-DAVIDのホームページ  
<http://j-david.info/>